

TOKYO市場情報

平成21年6月29日発行
第50号

青森県東京事務所
(担当：流通観光課 三上)
TEL 03-5212-9113
FAX 03-5212-9114

「青森やさい」本格スタート!!

そろそろ6月も終わり、東京は「夏本番」の予定ですが、最高気温が25℃を下回る日が続いています。関東は6月10日頃の梅雨入りだそうですが、5月下旬から雨の日が多く、しかも週末です。雨の日は、量販店の客足も遠のくようです。

「すいか」を見ながら「温度が上がらないねえ・・・。」と市場関係者と会話。事務所では「さすが東京は夏じゃ。青森だっきやまだ冬じゃ」と青森からの出張者。それは言い過ぎでしょうが、なんだかよくわからない天気です。行政関係の区分では6月は春野菜、7月からは夏野菜です。同じ畑から穫れたものでも、6月に出荷すると「春だいこん」、7月だと「夏だいこん」です。どうでもいいですよー。

そんな東京市場に「青森やさい」がどんどん入荷しています。それこそ夏季冷涼な気象条件ですから、暑い時期の「青森やさい」は品質間違いなしです。まだまだ関東近郊産が多い時期ですが、これからが本番の青森やさいを選んでほしいものです。

「青森の 野菜で夏バテ 吹き飛ばせ」

「にんにく」も「ながいも」もありますからね。えっ？まだバテそうにないって？大丈夫、6月19日発表の1か月予報では関東地方は気温が高くなるそうですから、夏本番もすぐそこです。



「だいこん」は5月末からスタート。肌が良いとのことでした。



「トマト」はまだ関東近郊が主力です。



「葉つきこかぶ」は葉っぱまでシャキシャキです。



昨年は福島県が「キウウリビス」を展開



左が乾燥・右が生のにんにく。生のにんにくは増えました。



野菜コーナーのセリも活気づいてる... ような気がします。

「生のにんにく」は、香川産も増えてるようで、今年はたくさん目にしました。6月に入ってやや潤沢すぎる状況ですが、「生」と「乾燥」の違いを掲示しているような量販店はほとんどないように思います。

「生のにんにく」は旬のイメージがあるし、「乾燥のにんにく」は年間を通じて一定の品質で楽しめるし...。でも一般の消費者が知らずに購入すると違いに戸惑うかもしれません。

各産地で作付面積の拡大や新規導入の動きがある中で、「生のにんにく」「乾燥のにんにく」それぞれの持ち味を前面に出した売り込み方が必要かも...

「色白の 生のにんにくは 旬の味」

いつ収穫されるかすら知られてないかもなあ...

「父の日」は何を贈りましたか？

父の日と言えば、「バラ」や黄色い花の代表「ひまわり」などが思い浮かぶと思いますが、百貨店ではお花以外にもグルメ品やお酒、衣料品などなど様々な商品が並んでいます。

しかし!! 昨今の厳しい花き業界でこの商機を逃すわけにはいきません。ということで、大田市場では父の日用として鉢花などを提案する展示コーナーが設置されていました。

バラやアンズリウムといった花や観葉植物など多種多様な鉢植えを見ていると…。んっ!?何かが木にぶら下がっている!!よく見ると「ぶどう」と「あけび」でした。父の日に「あけび」はありかなあ…って思いましたが、実付きの鉢植えは熟していくのが楽しいし、庭に植えてもいいかもしれません。あります…。

「父の日は みんなで楽しむ 鉢植えを」
一家団欒につながります。こんな一風変わった商材のほうが消費者の気持ちをくすぐるかもしれません。

さて、結果は？

大田市場の父の日展示コーナー



「ぶどう」や「あけび」がなっています。

スイートコーンの名前が コーンなにあります

6月に入り「スイートコーン」の入荷が多くなってきました。

野菜には、品種名や産地名、産地独自の名前などを前面に出した出荷箱が多いのですが、「スイートコーン」もその一つ。そのいくつかをデザインや名前の第一印象を加えてご紹介します。



【ミルフィーユ】んっ?としましたが、白と黄色の粒の層がお菓子のミルフィーユに似ているかららしいです。

「冷やしておいしい」には驚きです。たくさんありますが、やはりキーポイントは

「鮮度」と「甘さ」でしょうか。青森にも「バサラコーン」や「嶽きみ」があるぞー!! 心の中で叫びながら歩いていると、千葉県産「とうもろこし」の箱が…。正統派と思ったら、なんと「JAきみつ」。やられたー!
「かじるほど 夢中にさせる 甘い粒」
子供のおやつに、夜食にどうぞ。



【朝霧コーン】朝採りの新鮮な感じですよ。



【夏祭り】出店の焼きとうもろこしを食べたくなります。



【ピクニックコーン】冷やすと甘いということで白クマがデザインに。



【もろこし君】愛着がありますね。



東京の梅雨はジメジメ&ムシムシ。これが毎日続くのかと思うと少し憂鬱になってきます。さて、今回は記念すべき50号ということで、号外編を付けました。私はまだ2号分しか書いてませんが、続けられるか不安です。ところで左の写真は自民党本部で行われた産直マーケットです。あいにくの雨でしたが、「東京うど」を購入したらレシピを添えてくれました。生産者も掲示され、しかもエコバック付きでしたよ。(ま)